高次脳機能障がいニュースレター　”シナプス”

第8号　（平成２３年１２月６日）

★　相談にのるツボ～支援者が気をつけたい様々なこと　★

●相談支援の役割

見えない障がいと言われる高次脳機能障がいの相談支援は、本人・家族が必要としているサービスを見極め、支援ネットワークにつなげていく重要な役割を担っています。

高次脳機能障がい者・家族が必要とするサービスの種類や内容は、それぞれの障がい状況や家庭などの社会的環境に応じて変わります。真に有効なサービスを提供するためには、相談対応の過程で、相談者のニーズを的確に把握することが大切です。

相談の際のポイント　－的確なニーズ把握のために－

- 混乱や不安の中にいることを理解し、話をよく聴き、受け止める
- 障がいによる変化を受け入れられるよう、継続して相談しやすい関係をつくる
- 本人の訴えを要約したり、質問を工夫をして、本人の表現をサポートする
- 本人の疲労に配慮する～休憩をいれる

家族のストレス

高次脳機能障がい者にとって最も身近な支援者である家族が受けるストレスは、大変なものです。

家族は、本人の発症によるショックや混乱に始まり、常に、葛藤や絶望感などのストレスにさらされています。

日常の生活に関するもの

・経済的な不安　・周囲（近親者や近所など）の理解不足による社会的孤立

・慣れない介護に対する不安や負担　・余暇時間や社会参加機会の減少　など

新たな役割に関するもの

・本人の代理・代弁（福祉サービスの給付申請や就労先での手続き等の行政・社会的手続きの代行など）

・本人のサポート（金銭管理、スケジュール管理など）　・本人のトレーニング（メモリーノートの作成や外出の練習など）　など

将来に関するもの

・本人の将来の心配　・自身の高齢化などによる介護継続への不安　など

本人に対する感情

・本人の変化に対する困惑、喪失感、自責の念、不満感　・本人の怒りなど（社会的行動障がい）に対するとまどいや恐怖感　など

高次脳機能障がい者のような認知障がいのある人を支える家族にとっては、同じような立場の人が相互に支え合うピアサポートを行う家族会などに参加することは、自らのストレス軽減を図る意味でも、大きな支援を得ることになります。

宮崎高次脳機能障がい家族会＜あかり＞

＜あかり＞が、宮崎県で初めての高次脳機能障がい者・家族相互のピアサポートの会として誕生して、１年が経ちました。

２カ月に１回の定例会では、自分たちが経験した様々な困難や、時々の意識・とまどいなどを発表したり、各方面のセラピストを交えて、悩みや問題を語り合い、解決策や緩和策を見つけ出すミーティングを行ったりしています。

当事者とその家族同士が同じ立場で互いに支え合いながら、少しずつでも希望に満ちた日々を送れるようになることを目指して、着実に歩みを続けています。

＊　次回のあかり定例会は、１２月１７日（土）午後午後１時30分から
県総合保健センター５階視聴覚室で開催されます。
お問合せは、事務局電話　０９８５－３２－０２７２（担当　壹岐）
Ｅ―mail　kouzinou@sungrow.co.jp　まで

＜あかり＞という名には、**希望という名のともしびが、すこしずつ育つように**との思いがこめられています。

★　コーディネーター便り～高次脳機能障がい講演会が開催されました～★

10月28日（金）、宮崎県医師会と宮崎県との共催による「高次脳機能障がい講演会」が、宮崎県医師会館から県内７カ所をテレビ中継で結んで開催されました。

高次脳機能障がいの医学的支援・研究拠点機関である宮崎大学医学部の帖佐悦男教授から「高次脳機能障がい　ー宮崎大学医学部の取り組みーについて」と題して、宮崎県や大学での取り組みや今後の課題・展望などについてお話をいただきました。

教授のおゆるしをいただきましたので、講演のレジュメを掲載します。

高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関：宮崎県身体障害者相談センター
住所　〒880-0032　宮崎市霧島１丁目１番地２
電話　０９８５－２９－２５５６　　Ｆａｘ　０９８５－３１－３５５３
Ｅ―mail　shinntaishogaisha-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp